

1. 三島由紀夫『近代能楽集』を読む

(分野：国語分野)

講 師：守安敏久
 実施日・時間：7月24日(月) 9時30分～16時
 会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階小会議室
 対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校
 定 員：11名
 準 備 等：三島由紀夫『近代能楽集』(新潮文庫)を購入し、事前に「葵上」「卒塔婆小町」「班女」を読んできてください。
 概 要：三島由紀夫『近代能楽集』所収「葵上」「卒塔婆小町」「班女」を教材として、三島由紀夫の文学的な方法と思想を考察します。教材とする3作品を事前に読んできてください(新潮文庫『近代能楽集』)。この新潮文庫をテキストとしますので、各自の責任で事前購入をお願いします。この3作品には、それぞれ典拠となる能作品があり、その比較を通して、日本の古典作品と伝統文化受容の問題も考察します。
 そ の 他：インターネット・サイト「the 能.com」(<https://www.the-noh.com/jp/index.html>)の「演目事典」(<https://www.the-noh.com/sub/jp/index.php?mode=dic>)で、典拠となった能作品「葵上」「卒塔婆小町」「班女」の「演目 STORY PAPER」を併せて読んでおくと、さらに理解が深まります。

2. 家庭科教育と未来の生活

(分野：家政)

講 師：赤塚 朋子
 実施日・時間：7月28日(金) 9時30分～16時
 会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室
 対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
 定 員：50名
 準 備 等：特になし
 概 要：家庭科の学びは、持続可能な社会の構築、人生100年時代の生活創造、誰もがWELL-BEINGをめざせる社会の推進等に深く関わっています。その学びの本質に迫りながら、未来の生活に向けて、家庭科の学びに求められることを一緒に考えていきます。

3. 子どもの運動能力・体力向上を目指した運動学習の理論と実践

(分野：理科・保健体育)

講 師：加藤謙一・松浦佑希

実施日・時間：7月31日(月) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：筆記用具、はさみ、マジック(簡単な教具を作成します)、トレーニングウェア(着替え等)、体育館シューズ

概 要：本セミナーは、現在の子どもが置かれている環境・実態を示しながら、運動発達の理論をもとに、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。前半は、運動発達に関する概論と運動遊びをもとにした学習教材を紹介します。(加藤)

後半は、体づくり運動の実技をもとに準備運動や体育授業や運動部活動等で応用できる学習教材を紹介します。(松浦)

そ の 他：講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい(見学可)。実技内容はハードではないのでご安心下さい！

4. 教師も楽しむ理科実験

(分野：理科教育)

講 師：南 伸昌

実施日・時間：8月1日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階 理科教育学学生実験室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：白衣、もしくは実験用着衣。安全メガネ。ハサミ。(何れも必要に応じて貸出有り)

概 要：実験や工作を中心に、下記から選んだ内容を、参加者やその時の状況に応じて扱う予定です。

割れたガラス、薬品、炎、見え方、ICT

- ・ 燃焼：炎の性質／燃える条件／固体、液体、気体の燃え方／水素の発生と性質の確認

- ・ 化学電池：ダニエル電池における電気の発生と物質の消費との関係

- ・ ICTを活用した相互作用型演示実験講義の紹介(運動、力)

- ・ 電気、磁石：発電、蓄電、利用／超簡単モーターのしくみ

- ・ 光(主に屈折)：陽炎／全反射／虹の仕組み

そ の 他：実験に適した楽な格好で来てください。(作業着、ジャージ可。)

ご希望の内容がありましたら、申込時にお知らせください。

5. 「特別の教科 道徳」の授業デザイン

(分野：教職大学院・教育分野)

講 師：和井内良樹・上原秀一

実施日・時間：8月1日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：30名

準 備 等：特になし

概 要：令和5年度は、小1から「特別の教科 道徳」(道徳科)で学んだ児童が6年生になる年です。道徳の教科化で何が変わったのでしょうか。小中学生の道徳性の育成に向けて道徳科の授業デザインをどのように行ったらよいのでしょうか。具体的な教材を使ってこの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校の各段階で用いられる代表的な教材を取り上げて、グループワークを中心とした講習を行います。

6. 数学的に考える力を育てる授業づくり：子どもの考えに着目して

(分野：数学・教職大学院)

講 師：日野圭子

実施日・時間：8月1日(火) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階教職大学院講義室

対 象 教 員：小学校教員・中学校数学科教員

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：算数・数学科において、数学的に考える力の育成は、益々その重要性が高まっている。本講座では、数学的な見方・考え方について、その捉え方や内容との関連性を述べるとともに、子どもの多様な考えについて考察する。その際、具体的な授業データも参照し、子どもの考えをどのようにみとったり、活かしたりできるかについて考えていく。

本講座は、グループワーク等を取り入れながら進めていく。話し合いを通して、自身の授業について振り返り、視野を広げる機会となるようにしたい。

そ の 他：教職大学院の「算数・数学授業デザイン論」とのコラボ授業です。教職大学院の院生と共に学びます。

7. 言語活動を軸にした教育内容・方法論

(分野：教職大学院)

講 師：青柳 宏

実施日・時間：8月2日(水) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階教職大学院講義室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：10名

準 備 等：特になし

概 要：本セミナーは、絵本等の多様な教材を介して、参加者同士が語り合い、深い対話を経験することで、授業はもちろん、様々な教育活動に対話的に実践していく資質を育むことをねらいとしています。まず、大人(教師)自身が対話することで自己を成長させていく感覚を、参加者同士、互いに育みあいたいと思います。尚、本講義は、教職大学院における選択授業「言語活動を軸にした教育内容・方法論」(全15回)の後半の4回分を当てて行われます。

8. 英語文学と日英語比較の知見を活かした英語の授業づくり

(分野：英語分野)

講 師：五十嵐奈央・岩崎宏之

実施日・時間：8月3日(木) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：前半は、英語で書かれた児童文学作品(特に詩)の読み方を学び、授業に活用できる作品の選択・指導法を考えます。英語文学の理解に必要な視点・背景知識に関する講義の他、作品解釈に関するディスカッションも行う予定です。後半は、個々の音から文という大きなレベルに至るまで、英語の文法的特徴を考察していきます。日本語との比較を通じて、身近な存在である言語について考えることの面白さを体感していただければと思います。

9. 教育改革に関する答申や法令などの最新動向

ー学校改善へのヒントと課題を考えるー

(分野：教職大学院)

講 師：小野瀬 善行

実施日・時間：8月4日(金) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階6A505教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：特になし

概 要：本講座では教育改革に関する近年の中央教育審議会答申や法令改正等に関する最新動向を、国際的な改革動向も視野も入れながら確認していきます。さらに、それらが日々の教育実践や子ども達の学びにどのような影響を及ぼすのかについて参加者で対話をしながら検討していきたいと思います。その対話を通じて、学校改善に主体的に取り組むためのヒントを参加者みなさんが得られるような講座としたいです。

10. 特別支援教育における ICT 活用

(分野：特別支援教育)

講 師：齋藤大地

実施日・時間：8月4日(金) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味関心のある方

定 員：16名

準 備 等：講座内で、先生方自身の ICT を利活用した実践を共有する時間を取りたいと考えております。成功事例もそうでない事例も共有したいと思いますので、講座の前までにこれまでのご実践について振り返る時間を各自設けてください。

概 要：本講座は、子ども理解と授業力向上を目指し、共同教育学部附属特別支援学校で学部教員により開講いたします。

1人1台端末時代の到来により、特別支援教育においてもますます ICT の利活用が求められています。本講座では、知的障害や発達障害のある子に対する ICT の利活用の基礎基本について学んだ後、主に知的障害特別支援学校における複数の事例をご紹介します。また、先生方に1人1台の iPad を貸し出し、具体的な演習を交えながら GIGA スクール時代に対応した ICT の利活用について実践的に学んでいただきます。複数名のスタッフで運営し、ICT が苦手とお感じの方にも個別のサポートを致しますので、安心してご参加ください。

1 1. 障がいの重い子どもと係わり合う教育

－実践事例から読みとく特別支援教育－

(分野：特別支援教育／教職大学院)

講 師：岡澤慎一

実施日・時間：8月7日(月) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：50名

準 備 等：特になし

概 要：障害の重い子どもとの教育実践から、教育の本質について学ぶ意志のある人を対象として、重複障害教育における実践研究の現状と課題について、事例研究論文や映像資料を用いながら解説したり、受講生相互に協議したりします。今回は、昨年度から引き続き、実践事例の蓄積が少なく、実践的見識の共有が容易ではない、超重症児との教育的係わり合いを検討します。超重症児とは、継続的で濃厚な医療的ケアを必要とし、重度の肢体不自由がある子どもです。

1 2. プログラミング教育の基礎・基本

(分野：技術)

講 師：川島芳昭・松原真理

実施日・時間：8月7日(月) 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館F棟2階実験授業室

対 象 教 員：小学校・中学校

定 員：25名

準 備 等：ノート型PCまたはタブレット

概 要：小・中学校で実施するプログラミング教育について、授業設計や実践方法で悩んでいる先生向けの入門講座です。

前半は、現在困っていることを基に、ディスカッション形式で話をしながら皆さんが抱えている課題を改善することを目指します。後半は、具体的なプログラミング体験を通して、授業設計や題材設定の基本的な方法などを学んでもらいます。

1 3. ICT を活用して地球を探究する

(分野：理科分野)

講 師：瀧本家康

実施日・時間：8月8日（火） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階基礎地学実験室

対 象 教 員：主として中学校理科・社会科

定 員：11名

準 備 等：PC、タブレット、スマートフォン（モバイルwifi などがあると便利です）

概 要：理科の他の分野（物理・化学・生物）と異なり，地学は教室内で実物の観察や実験が難しい科目です。しかし，近年ではそれらを ICT を用いることでカバーできたり，探究的な活動を行ったりすることができるようになりました。この講習では，地学分野の中でも最も基本となる「地球」について ICT（PC やタブレット，スマートフォン等）を活用した探究活動を実際に行います。参加に当たっては，お手持ちのスマートフォンを活用していただくのが一番ですが，こちらでもタブレット等を一定数準備します。（内容は2022年度と同じです）

そ の 他：動きやすい服装・靴等をお願いします。

1 4. 鍵盤ハーモニカを演奏してみよう

(分野：音楽分野)

講 師：新井 恵美

実施日・時間：8月8日（火） 9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館1階6A11教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員：20名

準 備 等：32鍵以上の鍵盤ハーモニカ（全員）、ショルダーバッグのストラップ（両手独奏を希望される方）

概 要：音楽の授業（特に小学校）で用いられることの多い，鍵盤ハーモニカ演奏の講座です。教育用と思われがちなこの楽器ですが，近年はプロのプレイヤーも多く活躍しています。この講座では，様々な奏法や演奏スタイルについて学び，その成果を演奏や指導に役立てていただきたいと思います。最後に，受講生それぞれに演奏（ソロまたはアンサンブル）をしていただく予定です。

15. 心理療法の観点を活かした子どもへの対応改善

(分野：教育心理分野)

講師：川原 誠司

実施日・時間：8月9日(水) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A22教室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

自分自身の様子を見つめることができればどなたでも(特に若手の先生の参加をお待ちしています)。

定員：20名

準備等：メモするためのノート等, 筆記用具

概要 要：本講座は心理療法の観点を活かした子どもへの対応について考えます。といっても、心理治療するための講義ではないのでご注意ください。クライアント中心療法の観点でのコミュニケーションの工夫とオパラント条件づけの観点での行動改善の工夫を説明します。「子どものためにいろいろしている」と思っても難儀していることが多いはず。観点を活かして、自分自身のよりよい改善につなげてもらうことが目的です。

16. 失敗しない生物実験

(分野：理科分野)

講師：井口智文

実施日・時間：8月10日(木) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟4階基礎生物学実験室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援教育学校

定員：10名

準備等：染色を使用するので白衣を持っている方は持参して下さい。

概要 要：生物分野の実験は失敗することが多く授業で行う場合苦労を伴います。本講座では、中学校理科の生物実験を中心に「根端細胞の染色体の観察」「葉の断面の観察」などいくつかを精選し、確実に実験を成功させるポイントを解説し実際に体験して頂きます。また、教科書に記載されている実験をベースにした応用的内容の実験も紹介しますが、基礎的な実験が多いため、生物実験をあまり得意にされていない方向けの講義と考えて下さい。

17. 鉛筆で描く

(分野：美術)

講師：株田昌彦

実施日・時間：8月10日(木) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟1階図画工作室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：15名

準備等：・スケッチブック※F3号(22×27.3cm以上)

・鉛筆(濃さの違うもの4本ほど)

・自由テーマで描く対象(モチーフや写真)

概要：要：最も身近な筆記用具である鉛筆。この講座では、「画材」としての鉛筆の魅力について実技を通して伝えます。内容は、以下の通りです。また、図工や美術の時間での指導での質問にもお答えします。

① 鉛筆デッサンにおける基本的な物の見方や捉え方

② 鉛筆の使い方

③ 簡単な静物

④自由テーマ(各自で用意した物、写真、構想)

18. 人気者はみなに好かれているのか

～人気者とスクールカースト～

(分野：社会分野)

講師：小原一馬

実施日・時間：8月21日(月) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対象教員：小学校・中学校・高等学校

定員：50名

準備等：特になし

概要：要：人気者がみな好かれているとは限りません。

ではなぜ人気者は、クラスの中でまわりに支持され、クラスで影響力をふるうことができるのでしょうか。

また人気者はしばしばスクールカーストの中でより高い地位につくことができます。スクールカーストとはどのように生まれ、どのような影響を及ぼすのでしょうか。

そうした問題を互いに共有し、対処を考えていきます。

19. 幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう

(分野：特別支援教育分野)

講 師：石川由美子・齋藤大地・福田奏子
実施日・時間：8月21日(月) 9時30分～16時
会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングcommons
対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味
関心のある方
定 員：20名
準 備 等：参加者ご自身が印象深く心に残している教育体験エピソードがある方はメモ程度
に当日ご持参ください。
概 要：幼児・児童・生徒が“ここの今”自身の手持ちの力を使って充実して生きることが
できる環境(対象としての人やモノ)を教育の場に整え共に生き合う。その先に
やっと“できる(自立)”を基盤とした子ども自身の主体的な活動の可能性がみえ
てくるかもしれないのであって、“できるようにさせる”ための教育目標と手段が
“自立”の前に敷かれる唯一の文脈(状況)ではないだろう。ひとりひとりの手持ち
の力で“ここの今”を生き合うことができる教育という視点から、教育を考える
対話的セミナーを開催します。その時間その場所で出会った主催者と参加者だけ
から創造できる時間と教育の可能性に興味のある方の参加をお待ちしています。

20. ICTを活用した物理実験を体験しよう

(分野：理科学分野)

講 師：瀧本家康・夏目ゆうの
実施日・時間：8月23日(水) 9時30分～16時
会 場：宇都宮大学峰キャンパス
8号館C棟5階基礎物理学実験室・8号館C棟3階基礎地学実験室
対 象 教 員：主として中学校・高等学校理科教諭
定 員：11名
準 備 等：スマートフォンまたはタブレットとノートPC
概 要：近年、スマートフォンやタブレット等の端末で利用できる教育上有用なアプリが
増えています。その中には、デバイスの高性能なマイクや加速度センサーなどを用
いて、物理実験の各種測定が可能な無料のアプリもあります。これまでアナログで
行っていた測定をデジタルで行うことが可能となっています。本講座ではどの学
校でもすぐに利用可能な実験を体験していただき、日々の授業に活用できる材料
を提示します。